



中川 淳一 議員

新市長に復興の加速化を期待!

教育・子育てについて

問 在宅保育については、待機児童の解消の一環として、考えているのか伺う。

答 あくまでも在宅で家庭で子育てをする世帯に対して手当を支給し、子育てに対して、ねざらいと多様なニーズに応える事を目的にした。結果として在宅の選択が増え、待機児童が減ることもある。

問 民間の事業者さんと一緒に手を携え、支援策を聞き取り、実現に向けて努力していく。

問 休職中でも保育園に預けられる入所基準の緩和する具体策について伺う。

答 既に、本市では、入所基準の緩和を図っており求職中の保護者でも、入園申し込みができる。保護者の要望を聞き、改善の検討を重ねていく。

問 保育士確保について、市で正職員を募集すれば、民営を圧迫することが懸念されるが。

答 市内2ヶ所にサテライト会場を設け、植樹祭への参加を促していく。

問 9千名を超える参加が見込まれるが、救急医療体制について伺う。

答 実行委員会は市立総合病院の医師2名、看護師4名、消防本部の対応により、市職員を配置し、救急医療体制に万全を期したい。

問 本市の役割及び市民のかかりについて伺う。

答 多くの市民の皆さんに記念式典やプロローグ、エピソードを、ごらんいただくため、

問 その他の質問

1 企業誘致について

2 移住対策について

3 復興「ありがとう」ホストタウンについて

問 市役所

問 3月から開始された「定額タクシー」について、喜びの声の一方で改善要望も寄せられている。利用範囲や行き先が限定されているため、自分が行きたい場所まで乗っていけない。登録した場所に行かれない。また、一度の外出で複数の用事を足せるようタクシーに待っていてもらいたいなどの要望も出ている。市民の声をどのように吸い上げるのか。

答 自宅と商業施設、医療機関等との間のタクシー料金が概ね3割

問 教員の長時間労働

問 市の学力向上を目指す方針で、取り組みや業務が増え、生徒と話す時間がない、教員同士話し合う時間がなく問題を共有できないという現場の教員の悲痛な訴えを、どう吸い上げ、長時間労働を解消していくのか。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 説明会については検討していきたい。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。

問 超過勤務の実態調査を実施し、部活動を見直している。

問 長野県では、過熱する部活動が適切かどうか観点から、医師や保護者も含めて、部活方針を出しているが、本市のとりくみは。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。

問 市役所

問 3月から開始された「定額タクシー」について、喜びの声の一方で改善要望も寄せられている。利用範囲や行き先が限定されているため、自分が行きたい場所まで乗っていけない。登録した場所に行かれない。また、一度の外出で複数の用事を足せるようタクシーに待っていてもらいたいなどの要望も出ている。市民の声をどのように吸い上げるのか。

答 自宅と商業施設、医療機関等との間のタクシー料金が概ね3割

問 教員の長時間労働

問 市の学力向上を目指す方針で、取り組みや業務が増え、生徒と話す時間がない、教員同士話し合う時間がなく問題を共有できないという現場の教員の悲痛な訴えを、どう吸い上げ、長時間労働を解消していくのか。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。

問 超過勤務の実態調査を実施し、部活動を見直している。

問 長野県では、過熱する部活動が適切かどうか観点から、医師や保護者も含めて、部活方針を出しているが、本市のとりくみは。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。



荒木千恵子 議員

みなタクで気軽に外出 介護予防

一般質問

問 引きて、相乗りにより更に割安になる。利用者の声を聴いて改善していきたい。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 説明会については検討していきたい。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。



太田 淳一 議員

市長選挙と公約について

問 選挙を通じ、多くの市民から様々な意見等を伺ったと思うが、それらを今後どのように生かしていくのか伺う。

答 長期的な視点を持って、家族がともに暮らすまじぶくりを対話の姿勢で行うことが重要だということ、大きな柱として据えた。これまで多くの市民の皆様と対話を重ねてきたが、その声を受けると、教育、子育て、医療、健康、介護、産業、インフラの分野が特に多いことから、重要施策として選挙公約の柱に掲げた。また、原発事故による各区の課題解消が大切ということ、30km圏外、小高の問題等についてそれぞれ公約に掲げた。

問 選挙期間中、市長は対立から対話へということを掲げたが、どのような考えのもとこの公約を掲げたのか伺う。

答 対話を重ねること、人の繋がりができ、輪が広がっていくということを従来から臨んできた。市民の皆様との対話の中から市政課題を抽出し、課題解決に向け、国・県へ単に要望・要求を行うだけでなく、市で出来ることは市民と対話しつつ、市自らが取り組むことも大事と思う。

問 市役所

問 3月から開始された「定額タクシー」について、喜びの声の一方で改善要望も寄せられている。利用範囲や行き先が限定されているため、自分が行きたい場所まで乗っていけない。登録した場所に行かれない。また、一度の外出で複数の用事を足せるようタクシーに待っていてもらいたいなどの要望も出ている。市民の声をどのように吸い上げるのか。

答 自宅と商業施設、医療機関等との間のタクシー料金が概ね3割

問 教員の長時間労働

問 市の学力向上を目指す方針で、取り組みや業務が増え、生徒と話す時間がない、教員同士話し合う時間がなく問題を共有できないという現場の教員の悲痛な訴えを、どう吸い上げ、長時間労働を解消していくのか。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 説明会については検討していきたい。

問 市から届いたパンフの説明では、理解しにくい部分が多い。各地域での説明会を開く必要があると思うが。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。

問 超過勤務の実態調査を実施し、部活動を見直している。

問 長野県では、過熱する部活動が適切かどうか観点から、医師や保護者も含めて、部活方針を出しているが、本市のとりくみは。

答 4月から、週2日の休養日と練習時間の上限を設けている。



竹野 光雄 議員

高齢者の集える施設の確保は

問 市内では現段階で、単身高齢者の方々が、3千386世帯で14.2%となっており、集える場所は生涯学習センターを初め、大小13ヶ所の建物がありま

答 震災等により、地域コミュニティがなくなり、核家族化が増えている事から、市では健康の相談支援、保健師さん等が回りまして、心のケア等の支援を見回り等によって行っております。

問 震災により、若者がこの地を離れ戻ってきておらず、独居高齢者世帯が増え、今後孤独死や孤立のないよう見守る環境づくりが必要だが見解を伺う。

答 震災等により、地域コミュニティがなくなり、核家族化が増えている事から、市では健康の相談支援、保健師さん等が回りまして、心のケア等の支援を見回り等によって行っております。

問 市では広報紙配布にかかる行政嘱託員の仕事が軽減のため、広報紙と同時に配布するチラシ等については、全戸配布ではなく極力回覧とするよう担当課と調整を図るなど、配布量また種類の削減に努めているところであり、必要な情報をより少ない枚数でお知らせする。



南相馬市役所

対話を重ねながら具体策をつくり、信念と責任を持って取り組む考えである。

む考えである。

む考えである。

む考えである。

む考えである。

質問を終えて
「対話」の姿勢を崩さず、信念と責任を持って市政運営を行っていただきたい。

その他の質問
1 市長選挙の結果について



南相馬市老人福祉センター

問 広報紙の配布などが主な業務であり、配布前の仕分けの対応に大変御苦労されている方々の軽減についてどう取り組むのか伺う。

答 市では広報紙配布にかかる行政嘱託員の仕事が軽減のため、広報紙と同時に配布するチラシ等については、全戸配布ではなく極力回覧とするよう担当課と調整を図るなど、配布量また種類の削減に努めているところであり、必要な情報をより少ない枚数でお知らせする。

質問を終えて
単身高齢者が増える状況であり、安心・安全の対応がより必要である。

その他の質問
1 小高区における入院機能再開について
2 中学校の海外研修実施について
3 除染廃棄物処理について